

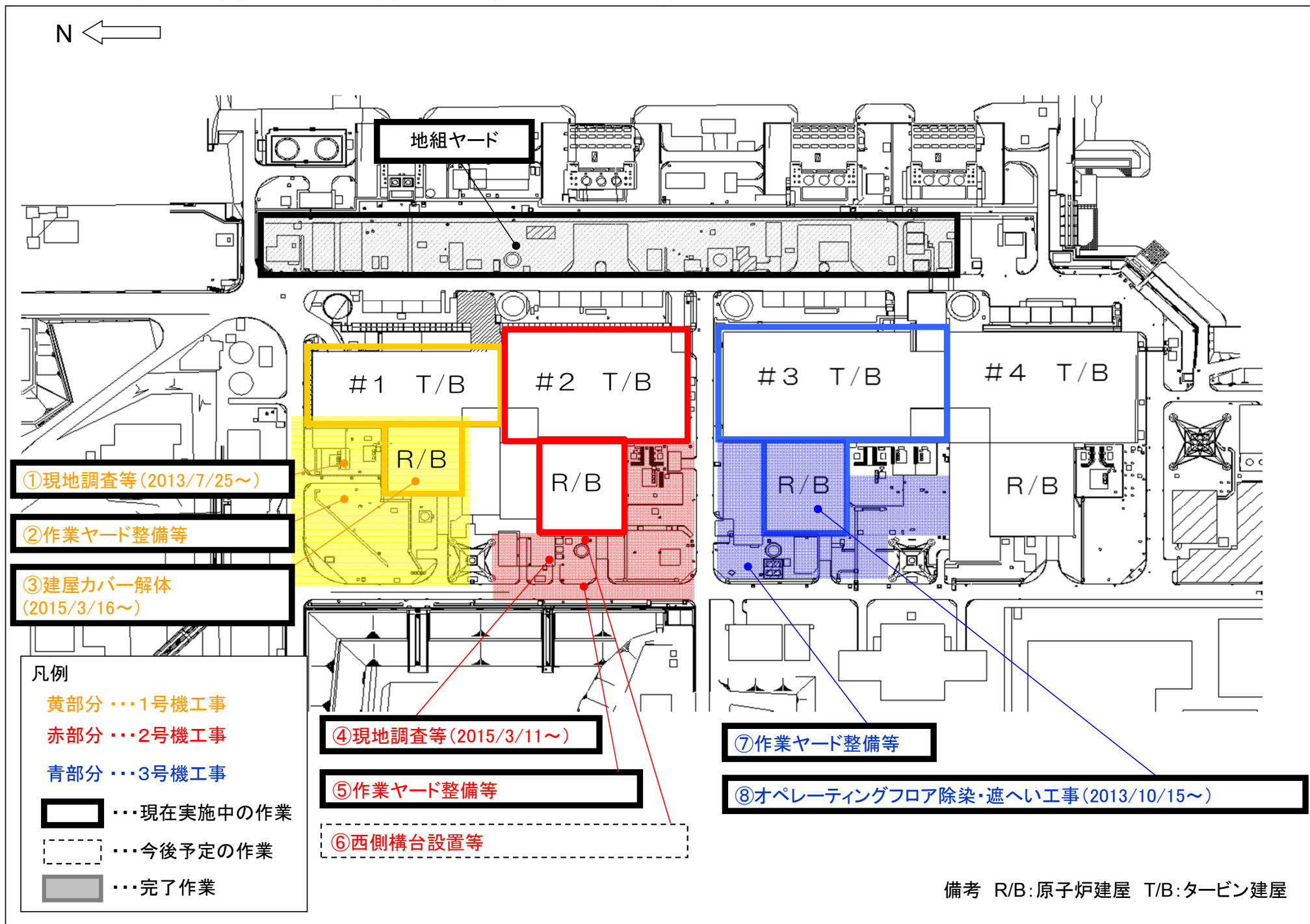
使用済燃料プール対策 スケジュール

東京電力ホールディングス株式会社
使用済燃料プール対策
2016年8月25日現在

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	7月		8月				9月			10月			11月			備考	
				24	31	7	14	21	28	4	11	18	下	上	中	下	期	後		
キャスク製造	構内用輸送容器の製造	(実績) ・構内用輸送容器製造中 (予定) ・構内用輸送容器製造中	調達・移送	構内用輸送容器の製造 (2017年下期頃完成予定)																
				29基目 (2017年1月頃完成予定)																
	30基目 (2017年2月頃完成予定)																			
	31基目 (2017年3月頃完成予定)																			
	32基目 (2017年4月頃完成予定)																			
	輸送貯蔵兼用キャスク・乾式貯蔵キャスクの製造	(実績) ・乾式キャスク製造中 (予定) ・乾式キャスク製造中	調達・移送	33基目 (2017年6月頃完成予定)																
				34基目 (2017年7月頃完成予定)																
				35基目 (2017年7月頃完成予定)																
				36基目 (2017年9月頃完成予定)																
				37基目 (2017年11月頃完成予定)																
共用プール	共用プール燃料取り出し 既設乾式貯蔵キャスク点検	(実績) (予定)	検討・設計	現場作業																
				現場作業																
乾式キャスク 仮保管設備	乾式キャスク仮保管設備の設置	(実績) (予定)	検討・設計	現場作業																
				現場作業																
研究開発	使用済燃料プールから取り出した 燃料集合体の長期健全性評価	(実績) ・燃料集合体の長期健全性評価技術開発 (予定) ・燃料集合体の長期健全性評価技術開発	検討・設計	【燃料集合体の長期健全性評価技術開発】 (湿式保管評価) 照射材材料調査																
				(乾式保管評価) 乾式保管時の燃料健全性確認試験																
				現場作業																

・28基目までは使用済燃料乾式キャスク仮保管設備に設置済み

1, 2, 3号機 原子炉建屋上部瓦礫撤去工事 燃料取り出し用カバー工事 他 作業エリア配置図



福島第一原子力発電所 1号機 建屋カバー解体工事の進捗状況について

2016年8月25日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

建屋カバー解体工事の進捗状況

- 建屋カバー解体工事は、5月30日より、小ガレキ吸引作業を開始し、8月2日に小ガレキ吸引作業が完了
- 8月4日より、壁パネル取り外し前の飛散防止剤散布を開始
- その間、作業に伴うダストモニタ・モニタリングポストに有意な変動、警報発報はなし



飛散防止剤散布装置吊り状況



飛散防止剤散布状況（東面）



飛散防止剤散布状況

1号機建屋カバー解体工事の作業状況写真（2016年8月4日撮影）

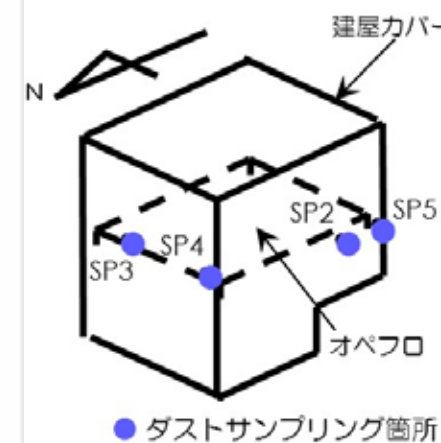
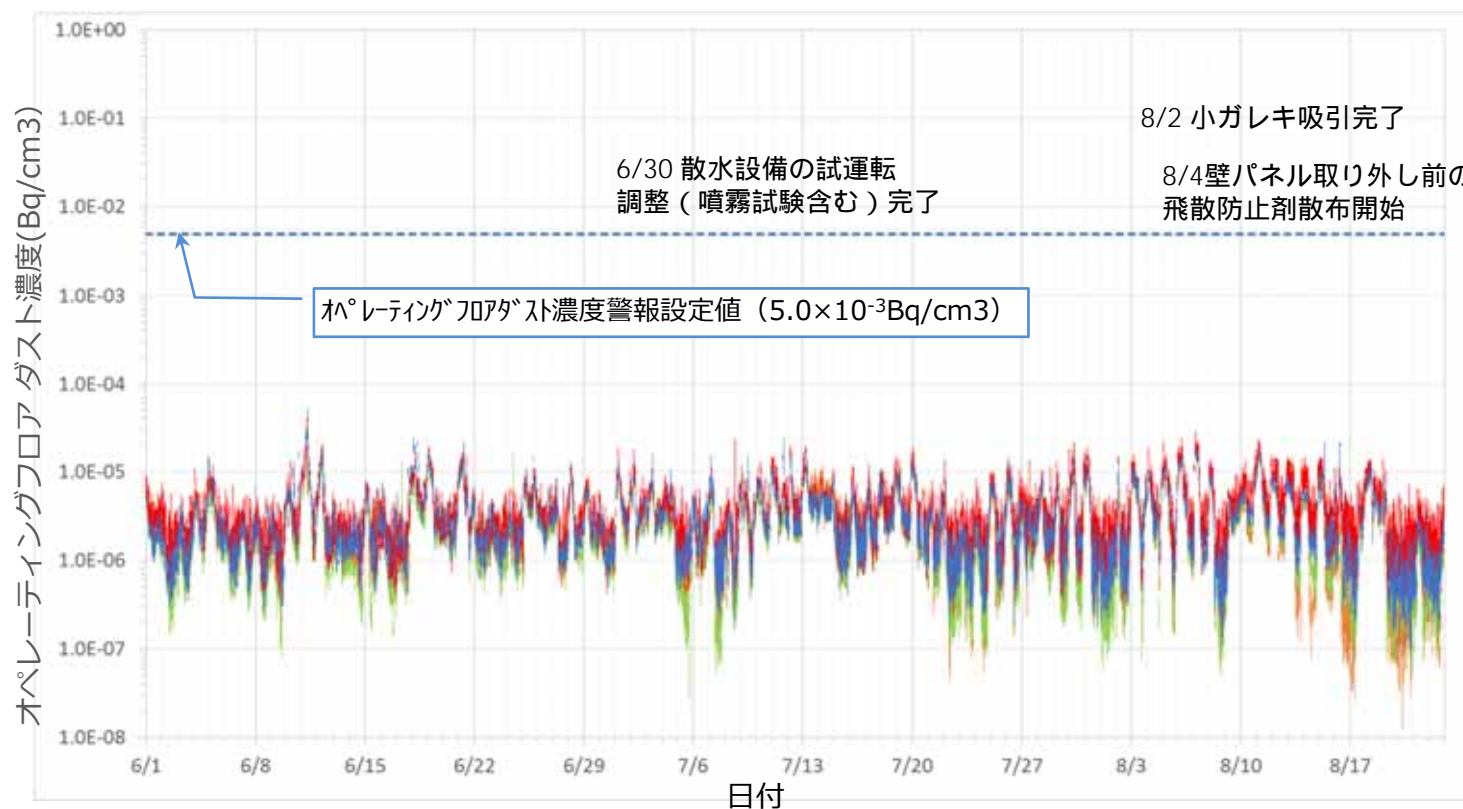
オペレーティングフロアの空气中的放射性物質濃度

- オペレーティングフロアの各測定箇所における、2016年6月1日～2016年8月22日までの「空气中的放射性物質濃度」を以下のグラフに示す

- 各作業における空气中的放射性物質濃度

- オペレーティングフロアダスト濃度警報設定値※ ($5.0 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$) に比べ低い値で推移した

※ 敷地境界モニタリングポスト近傍のダストモニタ警報値より設定した公衆被ばくに影響を与えないように設定した値



建屋カバー解体工事の流れ



- 今後の建屋カバー解体工事の流れは、以下のとおり。なお、建屋カバー解体期間中、定期的に飛散防止剤を散布（1回/月）する

<p>準備工事 解体に必要な装置、クレーンの整備</p> <p>完了</p>	<p>飛散防止剤散布（屋根貫通散布）</p> <p>完了</p>	<p>屋根パネル1枚目 取り外し オペフロ調査</p> <p>完了</p>	<p>屋根パネル1枚目 取り外し部分から 飛散防止剤散布 オペフロ調査</p> <p>完了</p>	<p>屋根パネル残り 5枚の順次取り外し オペフロ調査 風速計設置</p> <p>完了</p>	<p>オペフロ調査</p> <p>完了</p>
--------------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------	-------------------------

<p>支障鉄骨撤去（散水設備設置のため）</p> <p>完了</p>	<p>散水設備の設置 小ガレキの吸引</p> <p>完了</p>	<p>壁パネル取り外し前 の飛散防止剤散布</p> <p>完了</p>	<p>壁パネル取り外し オペフロ調査</p> <p>完了</p>	<p>防風シート取付等 （壁パネル解体後取付）</p> <p>完了</p>
------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------------

現在実施中

至近の建屋カバー解体スケジュール



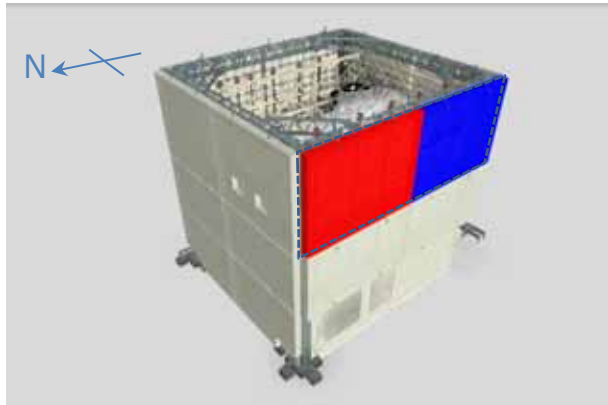
- 6月30日に散水設備の試運転調整（噴霧試験含む）が完了し、散水設備の運用を開始
- 5月30日より小ガレキ吸引を開始し、8月2日に小ガレキ吸引作業が完了
- 壁パネル取り外し前の飛散防止剤散布を8月4日より開始
- 壁パネル取り外しを9月上旬より開始予定

2015年度			2016年度										
2月	3月	4月	5月		6月		7月		8月		9月	10月	11月
			前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半			
飛散防止剤散布（定期散布）			-2/17	-3/17	-4/21	-5/13	-6/17	-7/16	-8/23				
散水設備設置			2/4~ 散水ノズルまでの配管設置等										
ガレキ状況の先行調査			3/28~4/7										
オペフロ調査（南東側よりポールカメラ挿入）			4/26~4/27										
ノズルユニット（散水ノズル）設置			4/6~4/28										
小ガレキ吸引			5/30 小ガレキ吸引開始										
試運転調整（噴霧試験等含む）			6/7~										
試運転調整完了・運用開始			6/30										
屋根パネル解体			7/16~										
壁パネル取り外し前の飛散防止剤散布			8/4 飛散防止剤散布開始										
小ガレキ吸引完了			8/2										
壁パネル取り外し			9/1~										
オペフロ調査			9/1~										

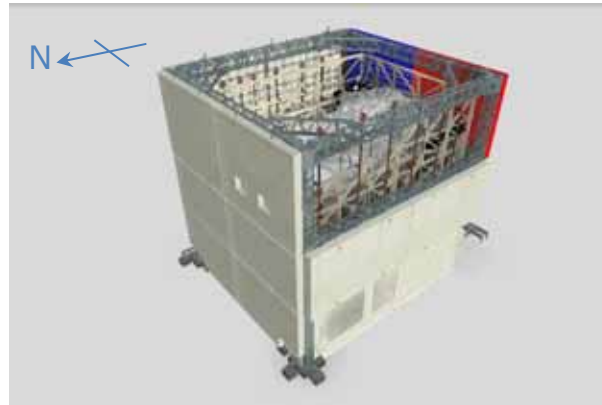
※他工事との工程調整、現場進捗、飛散抑制対策の強化等により工程が変更になる場合がある

参考 壁パネル取り外し手順

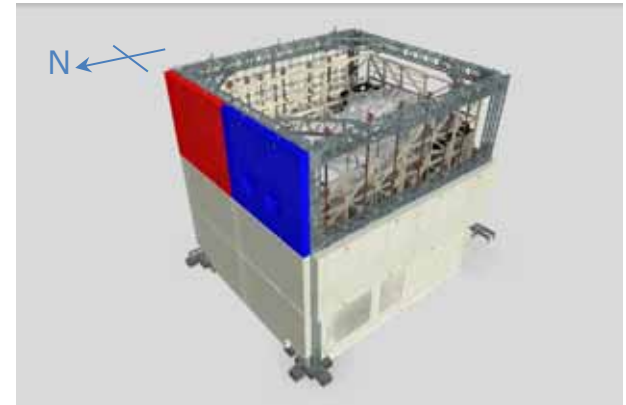
- 壁パネル取り外し期間は、約3ヶ月を予定
- 取り外すパネル枚数は全18枚 [最大サイズ 23m×17m、最大重量 約20t]



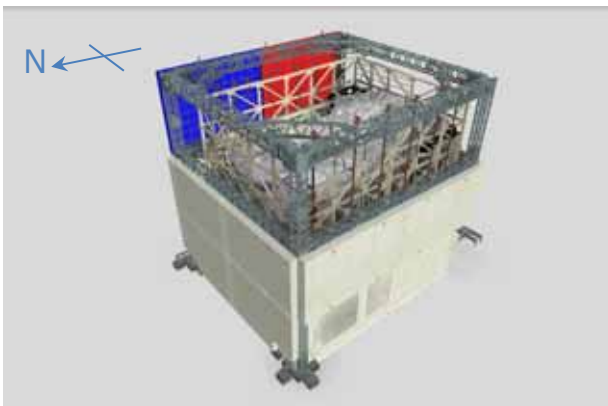
①西面（上段） 2枚



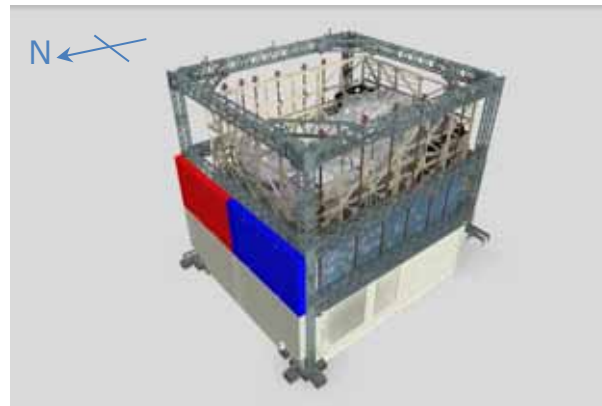
②南面（上段） 2枚



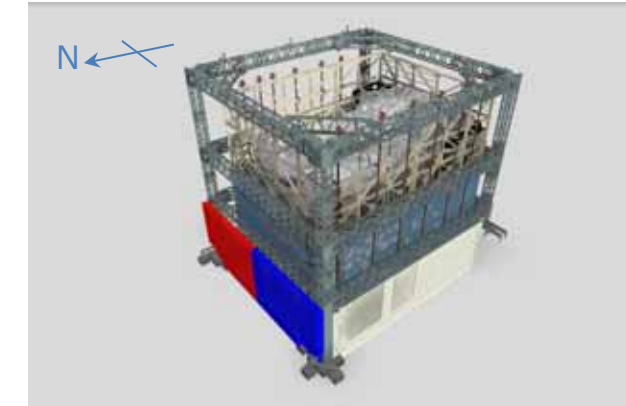
③北面（上段） 2枚



④東面（上段） 2枚



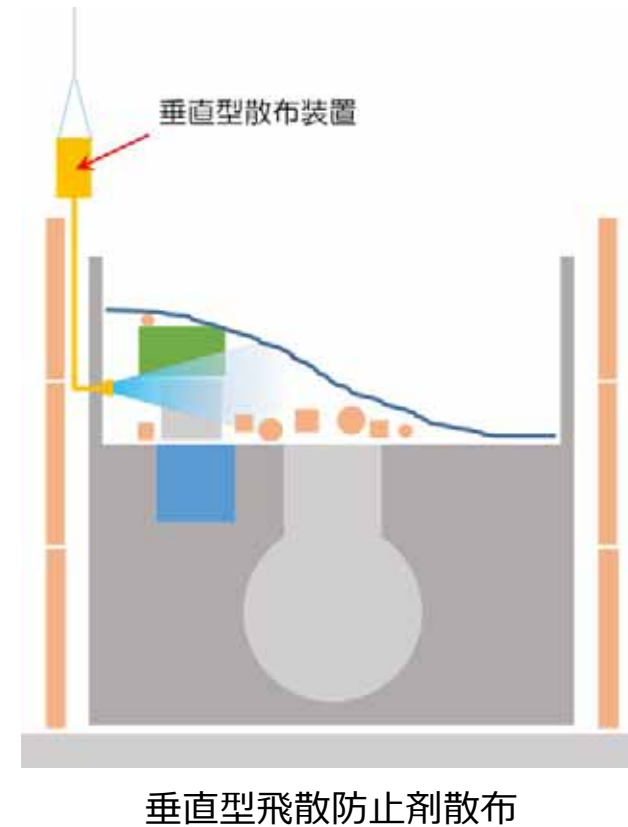
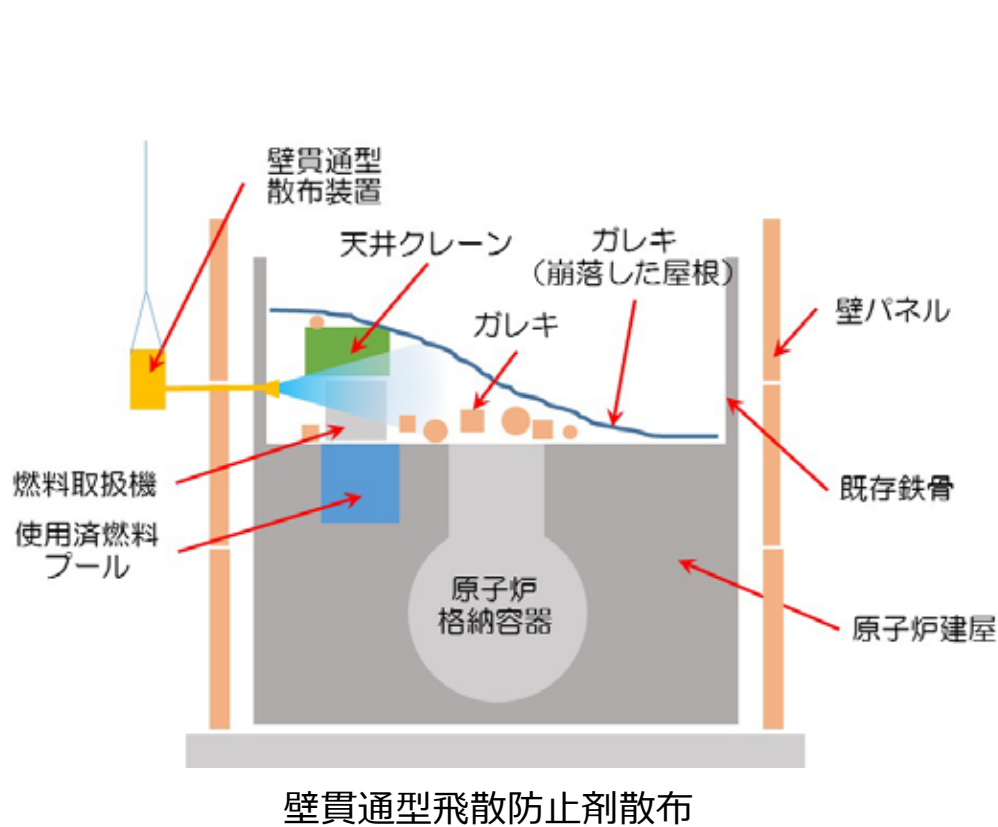
⑤東・西・南・北面（中段） 8枚



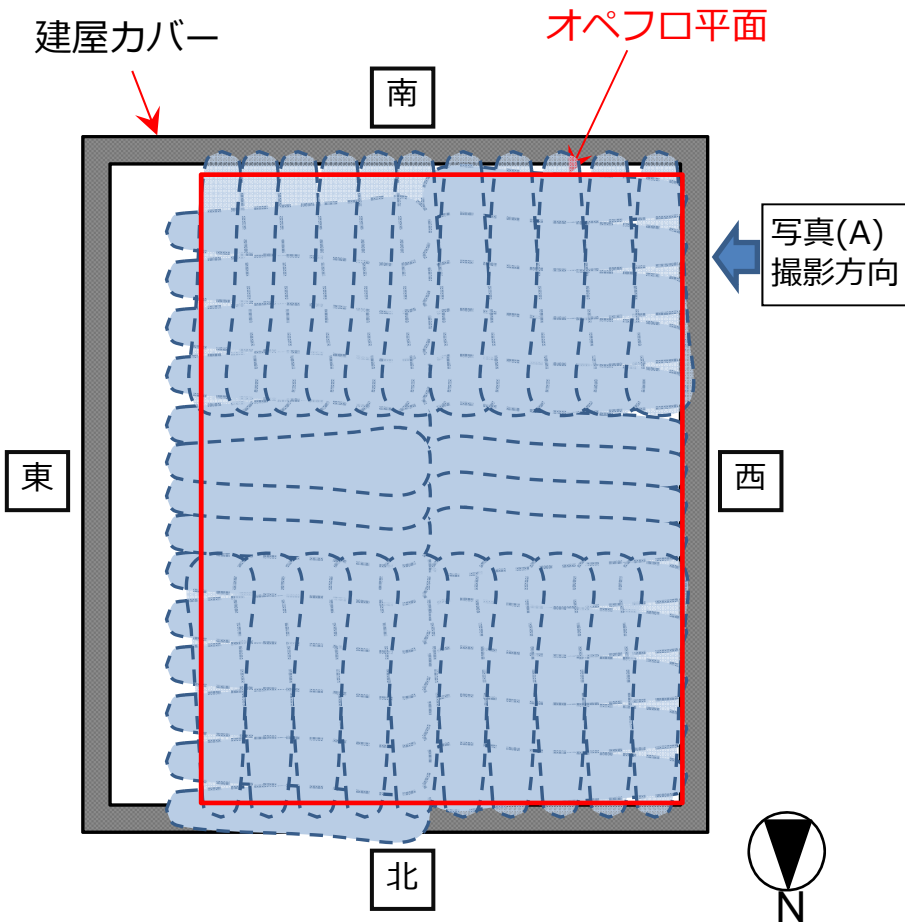
⑥北面（下段） 2枚

※他工事との工程調整、現場進捗、飛散抑制対策の強化等により工程が変更になる場合がある

- 崩落屋根上面からの散布に加え、崩落屋根下のガレキに対して、壁パネル取り外し前に側面から飛散防止剤を散布し、ダスト飛散を抑制する
- 飛散防止剤の散布は、壁貫通型散布装置に加え、操作性の良い垂直型散布装置を新たに開発し、崩落屋根下にある空間全体のガレキに対して散布する
- 散布範囲を十分に重複させ隈なく散布する

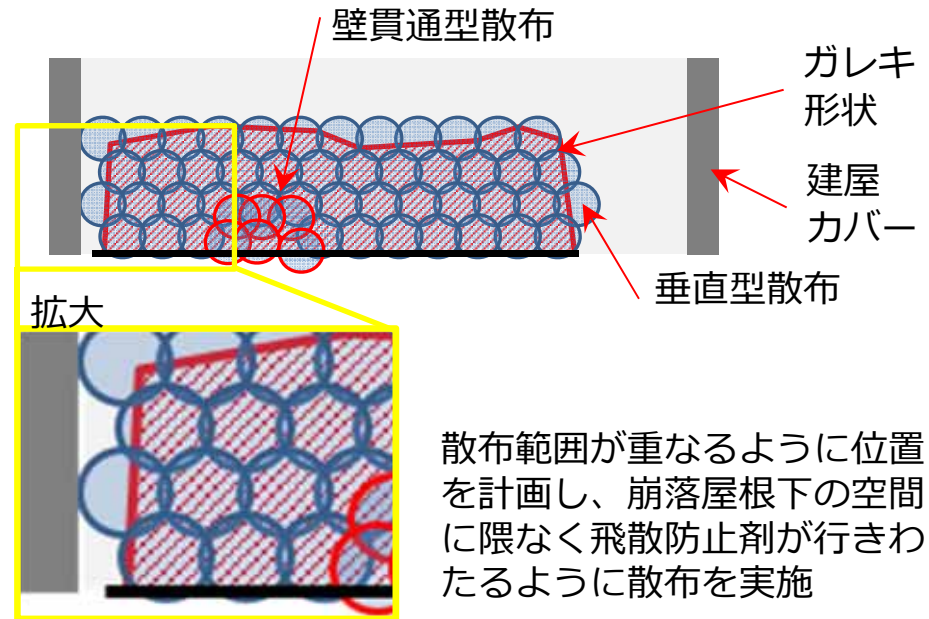


■ 壁パネル取り外し前の崩落屋根下のガレキに対する飛散防止剤散布位置は以下の通り



崩落屋根下は隙間があり、大きな空間となっているところもある

ガレキ状況写真 (A)



散布範囲が重なるように位置を計画し、崩落屋根下の空間に隈なく飛散防止剤が行きわたるように散布を実施

飛散防止剤散布-立面イメージ (南面)

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋 オペレーティングフロアの除染方法・除染作業の振り返り

2016.08.25

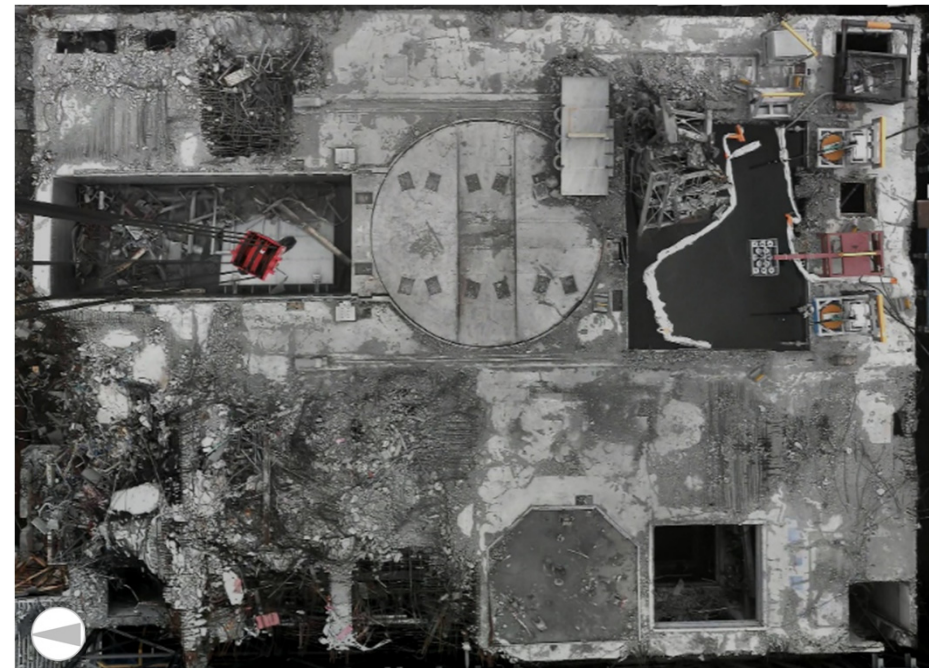
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

- 3号機原子炉建屋オペレーティングフロア（以下、オペフロ）の除染は、2013年11月に着手し、2016年6月に完了した。
- 3号機のオペフロ除染は、屋外で大規模な除染を行った初めての試みであったことから、今後の後続号機における除染計画立案等の一助となすことを目的に、除染方法・除染作業等について振り返りを行うものである。



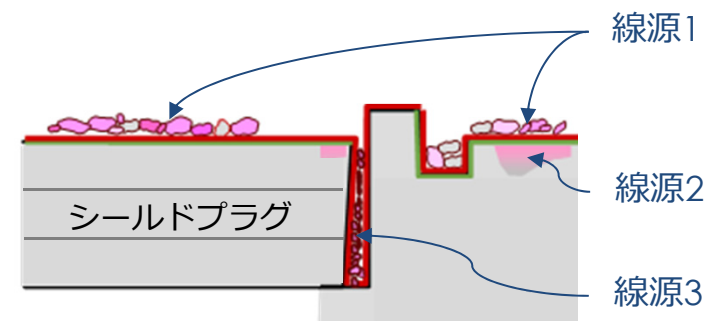
大型ガレキ撤去着手前のオペフロ（撮影日2011年3月24日）



大型ガレキ撤去完了後のオペフロ（撮影日2014年1月31日）

【除染計画】

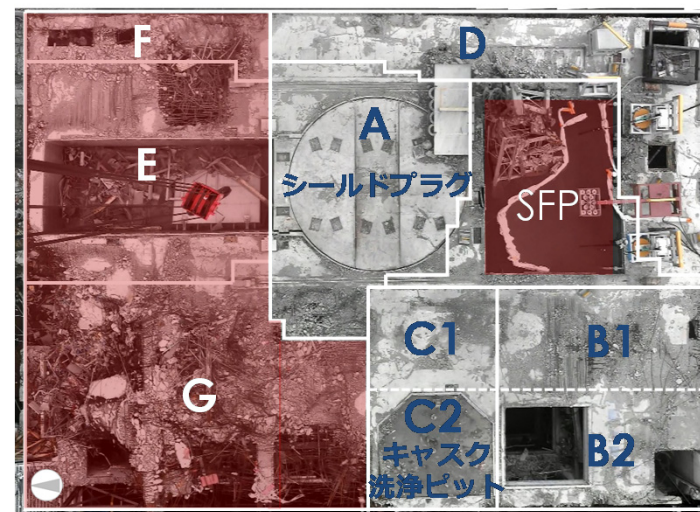
- 燃料取出工程のクリティカルにならぬよう、2012年3月、大型ガレキ撤去と並行して検討着手した。
 - 除染方法・開発方針
 - 除染方法は吸引・はつり・高圧水など各種の**既往技術**を単一あるいは複数の方法を組み合わせることで合理化すること。
 - 除染装置は高線量下を踏まえ遠隔操作式とすること。
 - 除染装置は床の形状や床の損傷状況に対応できること。
 - 除染対象となる線源の想定
 - 線源1：オペフロ床に散在する小ガレキ
 - 線源2：オペフロ床表層に浸透した汚染源
 - 線源3：シールドプラグ縁の隙間等(狭隘部)に堆積した小ガレキ



想定線源のイメージ

【実施概要】


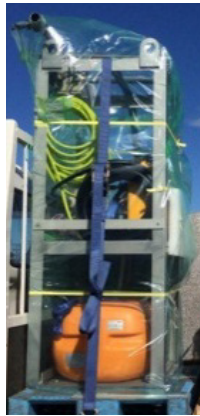
- 床の状況に応じて除染エリアを工区分けし、工区毎に除染装置(P3)を選定し、2013年11月に除染着手した。
- 除染過程で、十分に線源除去できない箇所を確認したことから、当該箇所に対応する除染装置(P4)を追加開発した。
- また、除染作業の効率を高めるため、集積アタッチメント(P7)等を追加製作した。
- 2016年6月、全工区の除染が完了した。



除染工区 (撮影日2014年1月31日)

名称	I		II	III	IV
外観					
実施工区	全工区			A	A・B1・B2・C1 (床損傷部・狭隘部) <床損傷部> ・クラックまたは多少の凹凸箇所 <狭隘部> ・シールドプラグ縁の隙間等
除染方法	集積	吸引	機械式はつり (はつり屑吸引機装備)		高圧水はつり、水ジェット (はつり水吸引機装備)
除染対象	線源1 (100~300角)	線源1 (100角未満)	線源2		線源2 線源3
操作	自走式				定置式

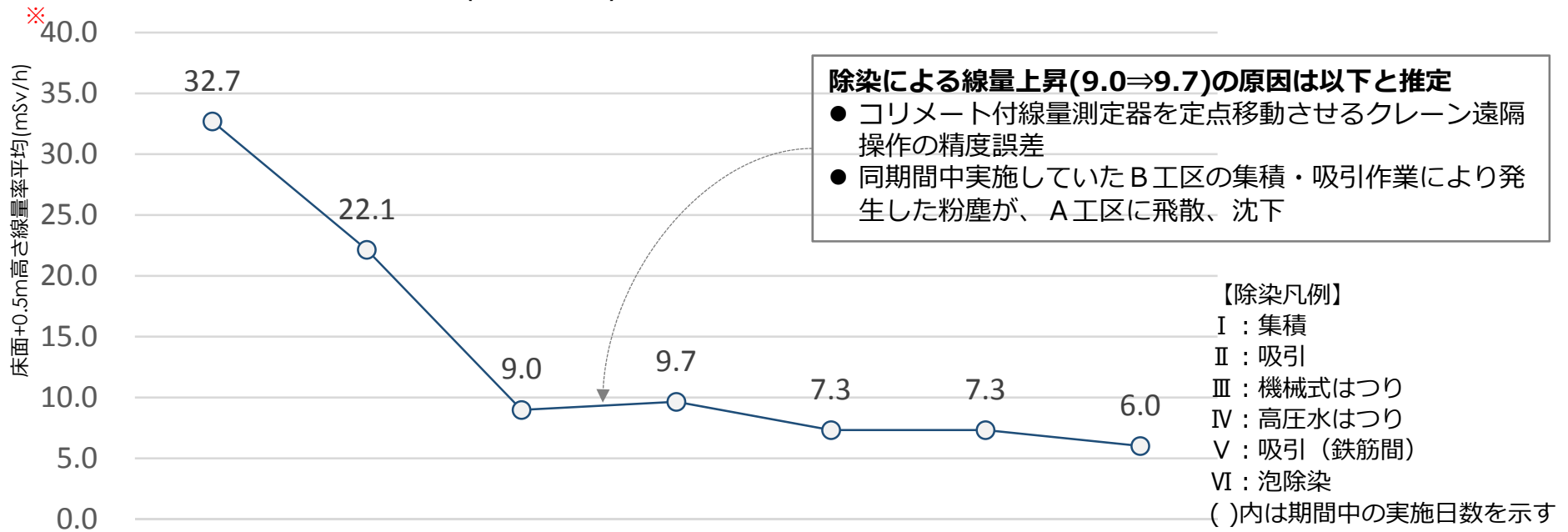
線源1：オペフロ床に散在した小ガレキ 線源2：オペフロ床表層（浸透汚染） 線源3：狭隘部に堆積した小ガレキ

名称	V	VI
外観		
実施工区	B 1	C 2
除染方法	吸引	酸性泡剤による錆部溶解および キレート剤によるCs吸着
除染対象	線源3 (床コンクリート欠損により露出した鉄筋間に堆積した小ガレキ)	線源4 (キャスク洗浄ピット 金属板ライニング)
移動	定置式	クレーン吊

線源3：狭隘部に堆積した小ガレキ 線源4：金属表面に生じた錆

除染実績の例（A工区 床面+0.5m高さ線量率平均）

- 複数の除染装置を用いることにより、床面+0.5m高さでの線量率平均が約81%(32.7⇒6.0)低減した。
 - 期間①②と比べて③以降は線量低減効果が減少した。
 - 期間①②においてⅢ(機械式はつり)を実施したが、作業開始前にダスト飛散抑制対策として実施した飛散防止剤散布により対象箇所が湿潤状態となり、はつり屑の吸引回収が十分に行えなかったため、はつり屑の回収はⅡ(吸引装置)を併用した。



測定日	H25/11/6	H26/4/1	H26/11/22	H27/1/8	H27/6/25	H27/8/21	H28/3/11
除染期間	①	②	③	④	⑤	⑥	
除染内容	I・II(3) III(8),IV(6)	II(7),III(2)	I(3),II(2)	II(6)	—	II(7)	

※コリメート付線量測定器検出部の遮へいにより実際の線量率はグラフ中の数値（指示値）の約10倍の値となる

- 除染装置に関する課題およびその改善策の代表例は以下の通り（詳細P13～15）。
 - 集積装置(Ⅰ)は、アタッチメントアーム稼働範囲の制約上、床面に凹凸があると集積できない箇所があった。このため、**ブラシ状**、**熊手状等**の集積アタッチメントを追加製作した（左図）。
 - 吸引装置(Ⅱ)は、瓦礫には100角を超えるものも混在していた為、吸引ホースが詰まることがあった。このため、吸引ノズルについて、**径が吸引ホース径より小さいもの（異外径配管）**に取り換えた（右図）。



集積アタッチメント（ブラシ状）



吸引アタッチメント（異外径配管）

【装置開発】

- 集積装置および吸引装置の仕様は対象ガレキの形状および大きさに依存するため、可能な限りガレキ状況調査を事前に行うことが望ましい。また、床面の損傷状況やガレキ形状等、幅広く想定し、**複数のアタッチメントを用意することも有効**と考えられる。

【除染方法】

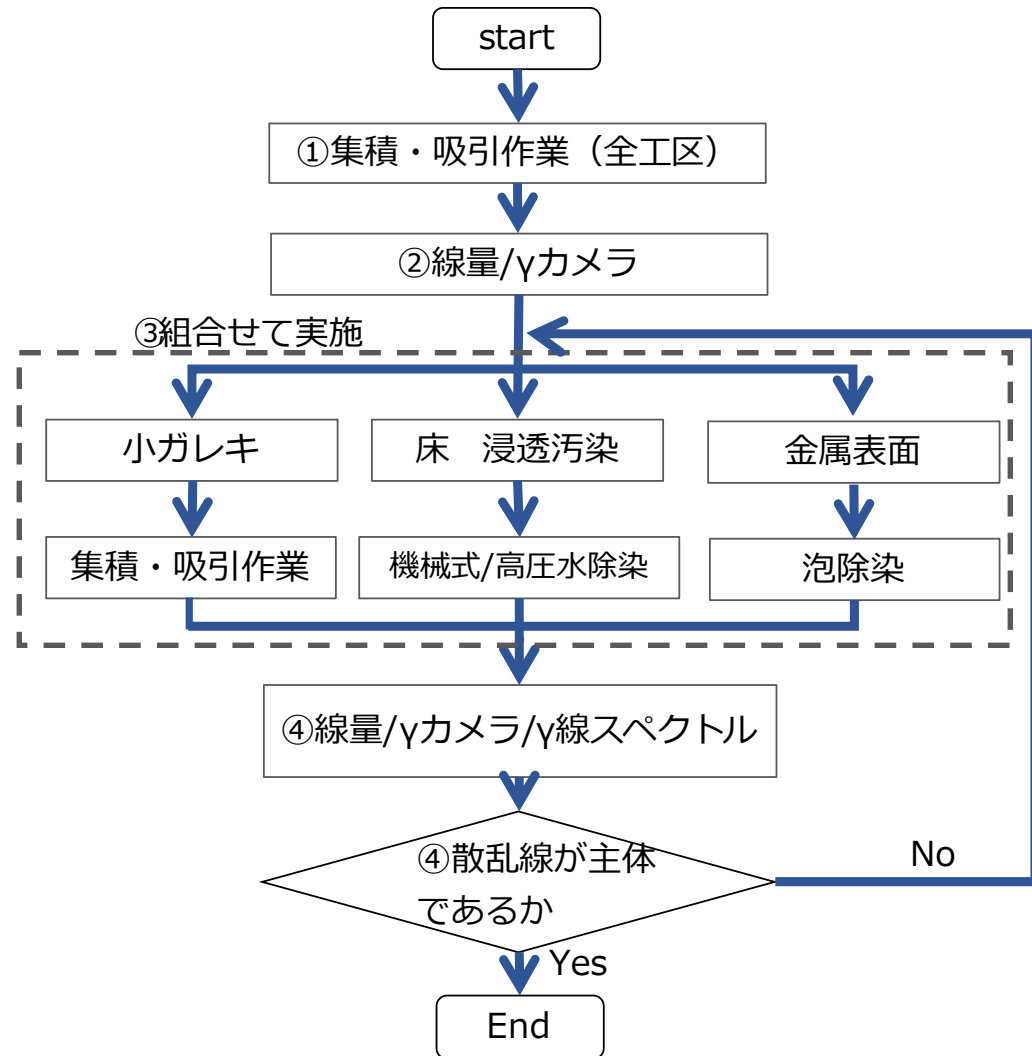
- 集積・吸引作業では、機械式はつり等を完了した隣接する工区を再汚染させた可能性があった。オペフロ全面にて集積・吸引作業を実施した後、次工程のはつり作業等に移行することが望ましい。
- 金属表面に生じた錆に対して**泡除染は有効**と考えられる。
- 作業前、オペフロに飛散防止剤を散布した**湿潤状態**では、**機械式はつり装置の吸引能力が大幅に低下**した。飛散防止剤は、1ヶ月以上効果が継続することを確認しており、除染作業では**作業前の飛散防止剤を散布する必要性は低い**と考えられる。
- 除染作業において作業前に散布した飛散防止剤が**床面の窪みに集まり、層状に固化した箇所**の除染は**困難**であり、飛散防止剤を化学的に剥離する方法等を用いる必要があると考えられる。

【除染効果の確認】

- 除染効果の確認は、目的に合わせた測定方法・装置を用いる。

考察②（後続号機におけるオペフロ除染手順(案)）

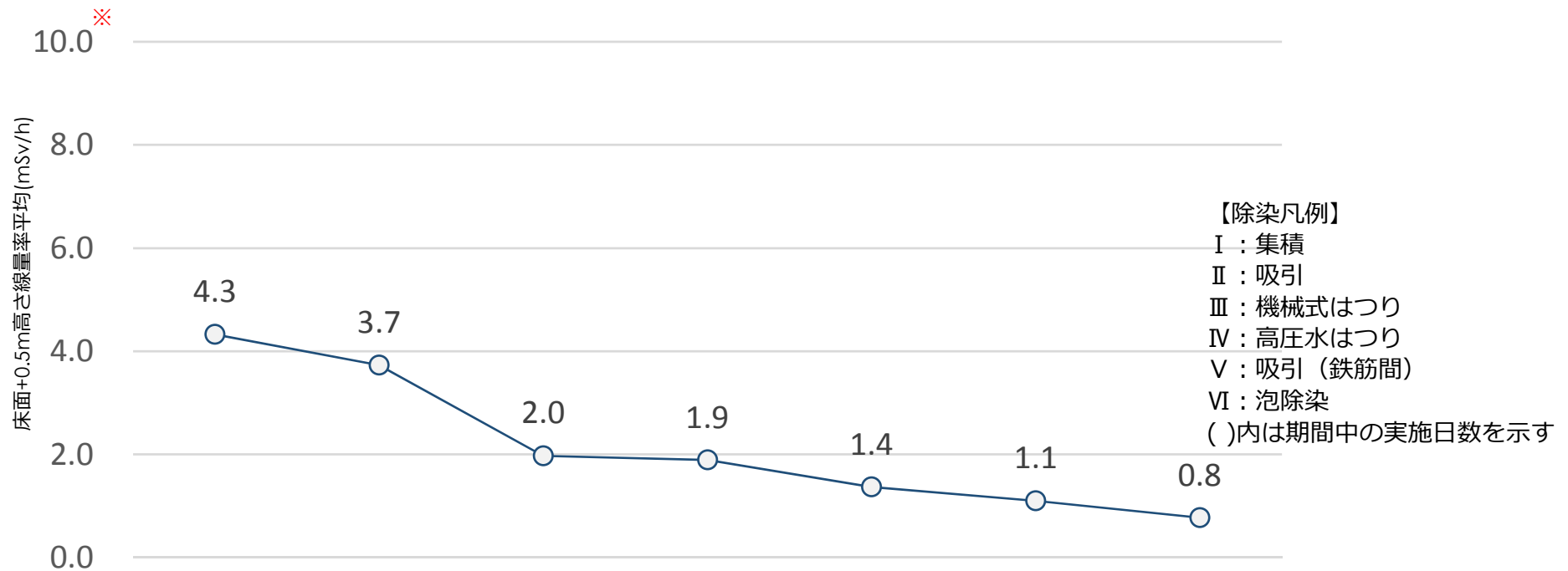
- ①集積・吸引作業は、小ガレキの線量寄与を小さくする、および他工区への飛散による汚染回避の観点から工区毎ではなく、オペフロ全工区に対し行う。
- ②コリメート付線量測定による集積・吸引効果の確認、および、 γ 線カメラによるホットスポット線源の特定を行う。
- ③「手順②」で特定したホットスポット線源について、以下の除染を実施する。
 - 小ガレキ : 集積吸引
 - 浸透汚染 : 各種はつり
 - 金属表面の錆 : 泡除染
- ④浸透汚染箇所等の除染後、線量測定を行い、線量の低減傾向を確認すると共にオペフロ面の γ 線スペクトルの結果が散乱線主体と判断できる状況（もしくは線量測定で目標線量を達成）であれば、オペフロ除染を完了する。
⇒遮へい体設置へ移行



参 考 资 料

除染実績の例（B1工区 床面+0.5m高さ線量率平均）

- 複数の除染装置を用いることにより、床面+0.5m高さでの線量率平均が約81%(4.3⇒0.8)低減した。
 - 期間②では1.7mSv/h低減したが、その他の期間では1mSv/h未満の低減となった。
 - 期間①②においてⅣ(高圧水はつり)を実施したが、はつり水が、**床面の凹凸により導水してしまい、吸引回収できなかった**。このため、③以降はⅣを用いずⅡおよびⅤ(吸引)で対応した。

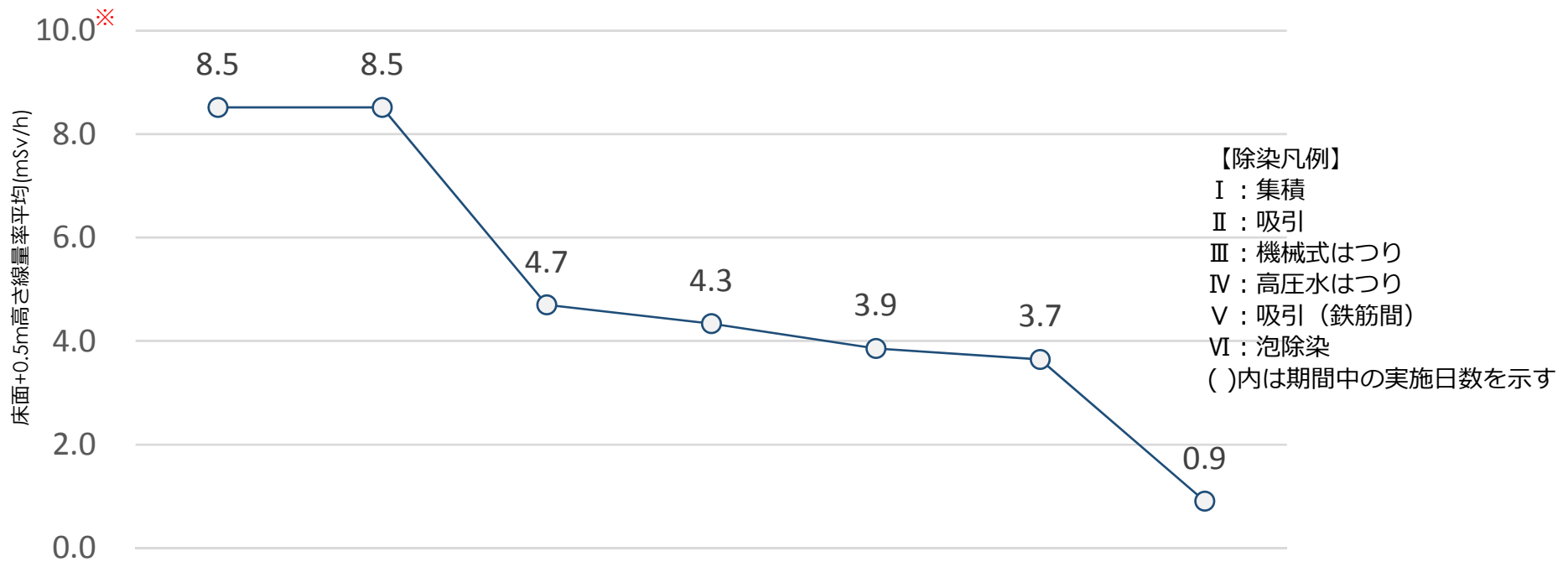


測定日	H25/11/6	H26/4/1	H26/11/22	H27/1/8	H27/6/25	H27/8/21	H28/3/11
除染期間	①	②	③	④	⑤	⑥	
除染内容	I (1), II (2) IV (3)	I (2), II (11) IV (3)	II V (6)	II V (4)	II V (9)	II V (12)	

※ コリメート付線量測定器検出部の遮へいにより実際の線量率はグラフ中の数値（指示値）の約10倍の値となる

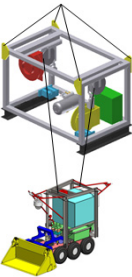
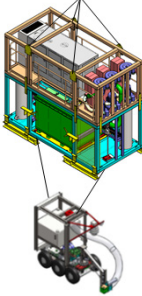
除染実績の例（C2工区 床面+0.5m高さ線量率平均）

- 複数の除染装置を用いることにより、床面+0.5m高さでの線量率平均が約89%(8.5⇒0.9)低減した。
 - 期間②ではガレキ吸引に加えて、キャスク洗浄ピットの溜まり水を吸引除去した。
 - 期間⑥ではⅡ(キャスク洗浄ピットに堆積した汚泥吸引)、および、Ⅵ(泡除染)を実施した。
 - **Ⅵは金属ライニング表面に生じた錆に対して有効と推察される。**

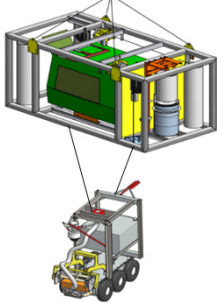



測定日	H25/11/6	H26/4/1	H26/11/22	H27/1/8	H27/6/25	H27/8/21	H28/3/11
除染期間	①	②	③	④	⑤	⑥	
除染内容	-	I (5), II (4)	-	II (1)	-	II (6), VI (1)	


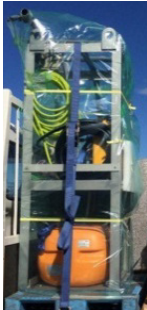
※コリメート付線量測定器検出部の遮へいにより実際の線量率はグラフ中の数値（指示値）の約10倍の値となる

名称	I	II
外観		
除染方法	集積	吸引
除染対象	線源1	線源1
課題	<p>【走行性】3号機オペフロ床面は損傷や小ガレキによる凹凸が著しく、走行範囲が限定された。</p> <p>【集積性】アタッチメントアーム稼働範囲の制約上、床面に凹凸があると集積できない箇所があった。</p>	<p>【走行性】同左</p> <p>【吸引力】瓦礫には100角を超えるものも混在していた為、吸引ホースが詰まることがあった。</p> <p>【保守性】飛散防止剤が吸引ノズルに付着し、吸引ノズルが高線量化した為、メンテナンス時の作業員被ばくが増加した。</p>
改善策	<p>【走行性】著しい凹凸箇所はクレーン吊りで移動させた。</p> <p>【集積性】床面への追従性を上げるために、ブラシ状、熊手状等の各種追加アタッチメントを製作した。</p>	<p>【走行性】クレーン吊りの状態で操作する、補助コンテナ機構を新規開発し、使用した。</p> <p>【吸引力】吸引ノズルについて、径が吸引ホースより小さいもの（異外径配管）に取り換えた。</p> <p>【保守性】吸引ノズル等の高線量化に対し従来のホースバンド止めをワンタッチカップラーに置き換える等の対策を行い、ユニット化による交換作業時間の短縮を図った。</p>

線源1：オペフロ床に散在した小ガレキ 線源3：狭隘部に堆積した小ガレキ

名称	Ⅲ	Ⅳ
外観		
除染方法	機械式はつり(はつり屑吸引機装備)	高圧水はつり・水ジェット (はつり水吸引機装備)
除染対象	線源2	線源2 線源3
課題	<p>【走行性】Ⅰと共通</p> <p>【集積性】作業開始前にダスト飛散抑制対策として、飛散防止剤を散布(湿潤状態)した状態では、はつり粉塵を吸引する能力が大幅に低下した。</p>	<p>【集積性】床面の凹凸により、水が周囲に流れてしまい、はつり粉塵を回収する能力が大幅に低下した。</p> <p>【操作性】冬季に水配管やノズルが凍結した。</p>
改善策	【集積性】「装置Ⅱ」で対応した。	<p>【集積性】「装置Ⅱ」で対応した。</p> <p>【操作性】保温材を追加するとともに、運転終了後に水抜きする運用で対応した。</p>

線源2：オペフロ床表層（浸透汚染） 線源3：狭隘部に堆積した小ガレキ

名称	V	VI
外観		
除染方法	吸引	酸性泡剤による錆部溶解、キレート剤によるCs吸着除去
除染対象	線源3	線源4
課題	<p>特になし B1工区露出鉄筋間のガレキ吸引用に小口径ノズルを採用しており、ノズルの微少移動⇒静止⇒吸引を繰り返すため、対象規模によっては工程短縮の観点から複数台並行稼働について検討することが望ましい。</p>	<p>特になし 廃液は、中和剤を用いて中性化した後、回収した。なお、壁面等を対象とする場合は液垂れに関して泡除染剤散布方法および廃液回収方法の検討を要する。</p>
改善策	—	—

線源3：狭隘部に堆積した小ガレキ 線源4：金属表面に生じた錆

1、3号機飛散防止剤散布実績及び予定

2016年8月25日



東京電力ホールディングス株式会社

1. 定期散布

	1号機	3号機
目的	オペレーティングフロア（以下、オペフロ）上へ飛散防止剤を定期的に散布し、ダストの飛散抑制効果を保持させることを目的とする。	
頻度	1回/月	
標準散布量	1.5L/m ² 以上	
濃度	1/10	
散布範囲	<p>【凡例】 : 散布範囲</p>	<p>【凡例】 : 散布範囲</p>
散布面積	1,234m ²	394m ²

2.作業時散布

	1号機	3号機
目的	オペフロ上での（建屋カバー解体や除染等）作業に応じて、飛散防止剤を散布し、ダストの飛散を抑制することを目的とする	
標準散布量	1.5L/m ² 以上	
濃度	1/10	
散布対象作業	<ul style="list-style-type: none">・屋根パネル外し・支障鉄骨撤去・壁パネル外し 等	<ul style="list-style-type: none">・遮へい体干渉物撤去 等

3. 定期散布の実績及び予定

	計画 (8月)	実績 (8月)	計画 (9月)
1号機	散布日：8月23日 オペフロ 建屋 カバー	散布日：8月23日 オペフロ 建屋 カバー	散布日：9月23日 オペフロ 建屋 カバー
3号機	散布日：8月8日 遮へい体 設置エリア SFP (水あり) オペフロ 洗浄ピット 開口部	散布日：8月9日 遮へい体 設置エリア SFP (水あり) オペフロ 洗浄ピット 開口部	散布日：9月6日 遮へい体 設置エリア SFP (水あり) オペフロ 開口部

【凡例】 ：計画散布範囲 ：実績散布範囲

平成28年8月24日時点

4.作業時散布の実績及び予定（1号機）



		当該週の散布範囲							
7月	日	24 (日)	25 (月)	26 (火)	27 (水)	28 (木)	29 (金)	30 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.71E-4 (最大) ND (最小)	2.08E-4 (最大) ND (最小)	1.64E-4 (最大) ND (最小)	2.20E-4 (最大) ND (最小)	1.75E-4 (最大) ND (最小)	1.73E-4 (最大) ND (最小)	3.06E-4 (最大) ND (最小)	
8月	日	31 (日)	1 (月)	2 (火)	3 (水)	4 (木)	5 (金)	6 (土)	
	散布対象作業	-	-	-	-	壁パネル外し	壁パネル外し	壁パネル外し	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	567	1323	567	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	1.8	1.5	1.8	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.52E-4 (最大) ND (最小)	1.50E-4 (最大) ND (最小)	1.36E-4 (最大) ND (最小)	1.35E-4 (最大) ND (最小)	2.01E-4 (最大) ND (最小)	1.19E-4 (最大) ND (最小)	1.24E-4 (最大) ND (最小)	
	日	7 (日)	8 (月)	9 (火)	10 (水)	11 (木)	12 (金)	13 (土)	
	散布対象作業	-	壁パネル外し	壁パネル外し	壁パネル外し	壁パネル外し	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	1512	1134	1134	1890	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	1.6	1.8	1.8	1.6	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.59E-4 (最大) ND (最小)	1.59E-4 (最大) ND (最小)	1.68E-4 (最大) ND (最小)	1.64E-4 (最大) ND (最小)	1.43E-4 (最大) ND (最小)	1.71E-4 (最大) ND (最小)	1.47E-4 (最大) ND (最小)	
	日	14 (日)	15 (月)	16 (火)	17 (水)	18 (木)	19 (金)	20 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-		
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.73E-4 (最大) ND (最小)	1.92E-4 (最大) ND (最小)	1.45E-4 (最大) ND (最小)	1.73E-4 (最大) ND (最小)	1.47E-4 (最大) ND (最小)	1.08E-4 (最大) ND (最小)	1.31E-4 (最大) ND (最小)		
日	21 (日)	22 (月)	23 (火)	24 (水)	25 (木)	26 (金)	27 (土)		
散布対象作業	-	-	-	壁パネル外し	-	-	-		
散布面積合計 (m2)	-	-	-	1890	-	-	-		
平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	1.6	-	-	-		
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.43E-4 (最大) ND (最小)	1.80E-4 (最大) ND (最小)	1.71E-4 (最大) ND (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)		
日	28 (日)	29 (月)	30 (火)	31 (水)	1 (木)	2 (金)	3 (土)	-	
散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-		
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-		
平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-		
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)		

※1 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値、ND=不検出

平成28年8月24日時点

4.作業時散布の実績及び予定（3号機）



								当該週の散布範囲	
7月	日	24 (日)	25 (月)	26 (火)	27 (水)	28 (木)	29 (金)	30 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回) ※1	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※2	2.84E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.68E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.68E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.87E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.97E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.93E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.59E-5 (最大) ND※3 (最小)	
8月	日	31 (日)	1 (月)	2 (火)	3 (水)	4 (木)	5 (金)	6 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回) ※1	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※2	2.47E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.10E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.91E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.97E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.72E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.48E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.04E-5 (最大) ND※3 (最小)	
8月	日	7 (日)	8 (月)	9 (火)	10 (水)	11 (木)	12 (金)	13 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回) ※1	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※2	5.07E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.13E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.13E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.90E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.67E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.55E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.59E-5 (最大) ND※3 (最小)	
8月	日	14 (日)	15 (月)	16 (火)	17 (水)	18 (木)	19 (金)	20 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回) ※1	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※2	3.55E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.50E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.46E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.41E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.33E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.40E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.03E-5 (最大) ND※3 (最小)	
8月	日	21 (日)	22 (月)	23 (火)	24 (水)	25 (木)	26 (金)	27 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回) ※1	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※2	3.10E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.66E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.53E-5 (最大) ND※3 (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	
8月	日	28 (日)	29 (月)	30 (火)	31 (水)	1 (木)	2 (金)	3 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回) ※1	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※2	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	

※1 平均散布量は作業前、作業後に分けて記載

※2 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値

※3 ND=不検出

平成28年8月24日時点

【1号機原子炉建屋カバー解体工事】

■ 7月28日（木）～8月24日（水）の主な作業実績

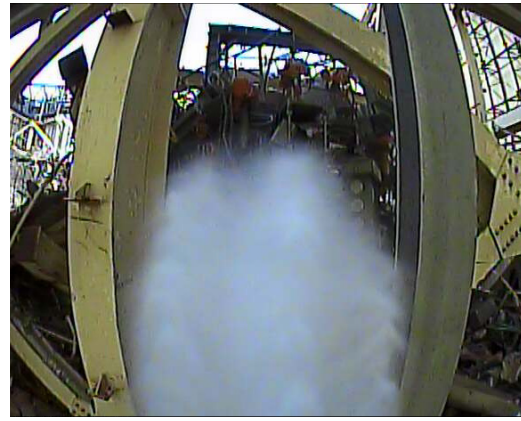
- ・ 資機材整備
- ・ 飛散防止剤の定期散布
- ・ ダストサンプリング
- ・ オペフロ小ガレキ吸引（支障物撤去含む）
- ・ 壁パネル取り外し前の飛散防止剤散布

□ 今月



全景(北西面)
撮影：H28.8.11

□ 作業進捗



壁パネル取り外し前の飛散防止剤散布状況
撮影：H28.8.4

■ 8月25日（木）～9月28日（水）の主な作業予定

- ・ 飛散防止剤散布の定期散布
- ・ 壁パネル取り外し前飛散防止剤散布
- ・ ダストサンプリング
- ・ 壁パネル取り外し
- ・ オペフロ調査

■ 備考

- ・ なし

以 上

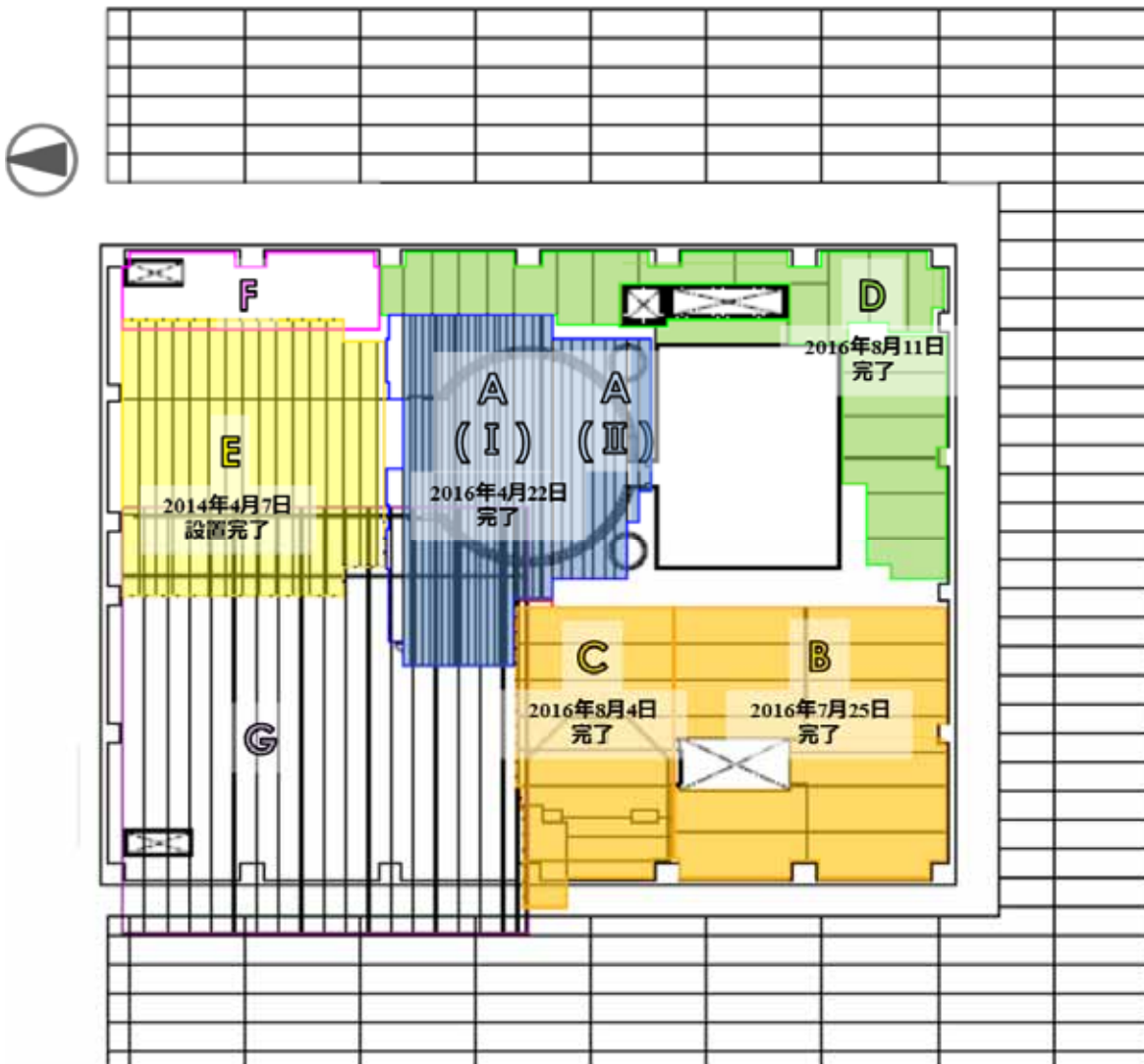
3号機原子炉建屋オペフロ遮へい体設置工事

■ 8月の主な作業実績

- C工区遮へい体設置 : 2016年7月11日～同年8月4日
- D工区遮へい体設置 : 2016年7月27日～同年8月11日
- A工区第 期遮へい体設置 : 2016年7月29日～同年8月25日(予定)
- 補完および構台間遮へい体等設置 : 2016年8月24日～

■ 9月の主な作業予定

- G工区遮へい体設置
- 補完および構台間遮へい体等設置



3号機原子炉建屋オペフロ遮へい体設置状況

(2016年8月25日時点)

使用済燃料等の保管状況

保管場所	保管体数(体)				取出し率	(参考) H23.3.11時点	備考
	使用済燃料プール		新燃料貯蔵庫	合計			
	新燃料	使用済燃料	新燃料				
1号機	100	292	0	392	0.0%	392	
2号機	28	587	0	615	0.0%	615	
3号機	52	514	0	566	0.0%	566	
4号機	0	0	0	0	100.0%	1,535	
5号機	168	1,374	0	1,542	0.0%	1,542	・H23.3.11時点の体数は炉内含む
6号機	198	1,456	230	1,884	0.0%	1,704	・H23.3.11時点の体数は炉内含む ・使用済燃料プール保管新燃料のうち180体は4号機新燃料
1～6号機	546	4,223	230	4,999	21.3%	6,354	

保管場所	保管体数(体)			保管率	(参考) 保管容量	備考
	新燃料	使用済燃料	合計			
キャスク仮保管設備	0	1,412	1,412	48.2%	2,930	キャスク基数28(容量:50基)
共用プール	24	6,702	6,726	98.9%	6,799	ラック取替工事実施により当初保管容量6,840体から変更

	保管体数(体)		
	新燃料	使用済燃料	合計
福島第一合計	800	12,337	13,137

